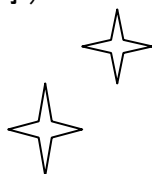




図書室だより vol.132

中大高生の人気本 2017 年上期 Best リーディング

- ★★★鹿の王①～④ (上橋菜穂子)
- ★★僕は何度でも、きみに初めての恋をする。(沖田円)
- ★★植物図鑑(有川浩)
- ★ぼくは明日、昨日のきみとデートする(七月隆文)
- 蜜蜂と遠雷(恩田陸)
- 戯言シリーズ(西尾維新)
- 地球温暖化は解決できるのか(小西雅子)
- 小説 君の名は。(新海誠)
- 給食のおにいさん 浪人(遠藤彩見)
- ノルウェイの森(村上春樹)
- 火花(又吉直樹)
- 美女と野獣(ポーモン夫人)
- 経済学大図鑑(ナイアル・キシテイニー)
- ビブリア古書堂の事件手帖⑦(三上延)



1位の『鹿の王』は、文庫化されて図書室に入るのを待っていた人も多かったようです。2015年の本屋大賞受賞作ですね。

本屋大賞受賞作はもう一冊、『蜜蜂と遠雷』が4位に入りました。直木賞とのダブル受賞が話題になりましたが、その後ブクログ大賞も受賞しています。

『ノルウェイの森』は、図書室でも長く読み継がれていて傷んできたので、新しいものに買い替えました。嬉しいランクインです。

3年生が社会科研究に使ったと思われる本も上位に入りました。

☆図書委員からのオススメ☆

私が紹介する本は武田泰淳著『ひかりごけ』(B913-タ)です。

この話は戦争中に実際に起こった食人事件をもとにして書かれたものです。

筆者は暗所で金緑色に光るといふこけを北海道の羅臼に見に行きます。

地元の中学の校長先生がひかりごけがある洞窟に案内してくれます。

校長先生はそこで戦争中に起きた事件を、筆者に話します。

乗組員四人の船が難破し、助けを待つ状態になります。外は視界がきかない猛吹雪で海は氷で凍り付いているので食糧調達もできず、すぐになくなってしまいます。

四人のうち一人が衰弱と飢えにより亡くなります。

船長は生き延びるためにその死体を食べます。他の二人は食べることをしません。

こうして死んでいった者の肉を食べて船長だけが救出されます。

そして船長は裁判にかけられ…。

この話はとても面白いです。事件の描写が戯曲風に書かれていますが、

このような形式の話は読んだことがありませんでした。

こんな内容の話を読んだことも、聞いたこともなかったので衝撃でした。

しかもこれが実話をもとにしたというのですから驚きです。

この話で出てくる一つの疑問が「たんなる殺人と、殺人はやらないで自然死の人肉を食べるのはどちらが重い罪なのか」というものです。

このような答えが出ない疑問について考えるのも興味がでませんか？

百ページほどの短い話なので、もしよければ一度手に取ってみてはいかがでしょうか？

2年 男子図書委員

*昨年度末の蔵書点検で所在不明だった『手のひらの音符』『おとなになるってどんなこと？』が見つかりました。ご協力ありがとうございました！